

多文化社会と衛生環境について

杉山穂佳

【はじめに】

私は以前から衛生環境について興味があったことから、本テーマについて探求した。シンガポールは世界的に「清潔な国」と知られている。実際に生活して日本とどのような違いがあるのか知りたいと思った。また、日本の生活では、どのように衛生を守っているのか振り返るきっかけにしたいと思った。

【シンガポールでの調査】

私が行った調査は二つである。一つはシンガポールの生活習慣の観察で、街や施設の様子、家庭のルールを記録した。二つ目は、シンガポールで体験入学したクラスの生徒に対する質問事項を事前に考え、衛生環境についてのアンケート調査を行った。

1つ目の調査では、シンガポールの外食文化による習慣が高い衛生水準に関わっているように感じた。日本とは異なり、外食時の席取りにティッシュを置く習慣があった。ティッシュを持ち歩く文化があり、机を拭いたりして

自らの衛生を守る習慣があることがわかった。また、シンガポールには様々な衛生についての法律があり、地下鉄で飲食すると罰金、ポイ捨ても罰金、ガムの持ち込みで罰金などが挙げられる。

2つ目の調査では、Q1「シンガポールは清潔な国だと思う?」、Q2「あなたは学校で衛生について学ぶ?」、Q3「子供に衛生をどのように教えて?」、Q4「学校ではどのくらい手を洗う?」、Q5「多文化でなぜ高い衛生水準が維持できるのか」Q1からQ5の5つの質問をした。

アンケート結果から生徒全員がシンガポールを清潔な国だと評価した。小学校の頃から手洗いをはじめとする衛生について学校又は家庭で学ぶことがわかった。幼い頃からの教育によって自らの衛生を守る習慣があるのかもしれない。また、生徒の多くは多文化での高い衛生水準維持には、多くの法律があること、水道や手洗い場等の基本的なインフラが整っていること、衛生環境を守ろうという共通の意識が欠かせないと答えていた。

Please cooperate with my survey!

As Sapporo become more internationalized, I think it will become a multicultural society like Singapore. At that time, I want to think about what is necessary to achieve the high level of hygiene found in Singapore!

Q1: Do you think Singapore is a clean country? Why?

Q2: Did you learn about hygiene at school when you were younger?

Q3: How do Singapore usually teach kids about hygiene?

Q4: How often do you wash your hands at school? How are things at home?

Q5: What do you think is the main reason why Singapore, a country with many different cultures, maintains such high standards of hygiene? Please also tell us the reasons behind your thoughts!

Try playing with the unprocessed origami yourself! You can view materials explaining how to fold several types of origami by scanning the QR code on the side!

Thank you very much for participating in our survey! We hope you enjoy origami and learn more about Japan!

主なアンケート結果

- Q1 シンガポールは清潔な国だと思う?
- ・全員が「清潔な国」
- Q2 あなたは学校で衛生について学ぶ?
- ・3/4の生徒が小学生で学ぶ
 - ・残りの生徒は家庭で学ぶ
- Q3 子供に衛生をどのように教えて?
- ・手洗いを通して学ぶ
 - ・食事を通して学ぶ など
- Q4 学校ではどのくらい手を洗う?
- ・食事の前
 - ・お手洗いの後 など
- Q5 多文化でなぜ高い衛生水準が維持できるのか?
- ・たくさんの法律(ポイ捨て等)
 - ・インフラの整備がされている(水道等)
 - ・衛生に意識がある
 - ・手を洗う文化がある

私が、生活の観察で気づいた点はシンガポールに住む人にとっても重要だったと生徒へのアンケートでも認識することができた。

【まとめ】

今回の探求を通してシンガポールの衛生環境は「法律、インフラによって守られている部分」と「市民の意識によって支えられている部分」の両方があると感じた。多文化が共存するからこそ、誰もが安心できる衛生水準を大切にしていることが、衛生的な社会を支える理由になっているのだと考えた。

この派遣の経験から、衛生は単に清潔さの問題だけでなく、異なる背景を持つ様々な人がお互いを尊重し合い、共通の基盤を築くために欠かせないものであると考えた。今後は日本の生活でもこのような考え方を頭にいれて生活していきたい。

【おわりに】

今回のシンガポール派遣では、衛生環境についての探求だけでなく、日常の中でたくさんの学びがあった。特にホストファミリーとの生活を通して日本の文化についても改めて考える切っ掛けになった。会話の中では和の文化、ドラマやアニメ、日本食などについて質問されることも多く、そのたびに自分が日本の価値ある文化に囲まれて生活しているかを認識した。今まで当たり前感じていた文化に誇りを持つようになった。

また、英語で自分の想いを十分に伝えられなかったことにもどかしさを感じる場面が多々あり、同時に「もっと話せるようになりたい」という思いが強くなった。



さらに、派遣中にシンガポールのナショナルデーに参加できたのは良い経験だった。街中でシンガポールの国旗を飾り、祝う人々の姿が印象的だった。その様子から国に対する強い誇りと愛国心を感じた。多文化社会でありながら国民全体が一体となって国を祝う姿を見て「愛国心」は社会を支える大きな力になるのだと実感した。

初めての海外、ホームステイであったことから、派遣前はとても不安だった。派遣で受けた刺激を忘れずにたくさん英語の勉強をして、来年来るバディを楽しみに待ちたい。

